

質問件名 財政について市民への十分な情報提供と対話を

【質問要旨】

今年1月28日に閣議決定した「平成31年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」によると、2018年度の日本経済は緩やかな回復を続けており、経済の好循環は着実に回りつつあるということですが、その実感をもっている市民は少ないと思います。

確かに新卒の就職状況などは一時よりは改善していますが、若者の雇用条件は必ずしもよくありませんし、買い物をしていても物価上昇は手に取るように明らかです。生活実感の中でも右肩上がりの経済成長という期待は市民の中にもなく、子どもや若者たちのために自分たちになにができるか考えなければという声も聞こえてきます。こうした現状の中で市財政の情報提供は市民自治の第一歩です。

小平市では、超高齢化・人口減少と重なって公共施設の更新時期が訪れ、従来からの都市計画の実施も重なるという難しい舵取りの時代が訪れています。2019年度予算でも駅前再開発や都市計画公園取得に向けて大型事業の動きが盛り込まれています。

もちろん、こうしたインフラ整備をすべて否定するわけではなく緑地の公有地化や公園整備、駅前整備は都市の価値を高める場合があると捉え、特に緑地保全を世代間負担で行うことなど党派としても提案をしています。大事なのはどのようなビジョンでどのような資金計画をもって事業を実施していくか、その必要性を市民にしっかりとわかりやすく説明し理解を得ることです。そして、それは一つひとつの事業を個別に行うのではなくトータルなまちづくりとして総合的に示す必要があると思います。

公共施設マネジメントや財政白書、新 中期的な施策の取組方針・実行プログラムなどで財政推計について触れられていますが、具体的事業を視野に小平市の財政が将来大丈夫なのか、そうでないのかを知りたい市民は多いのではないのでしょうか。

限られた財政状況のなかで何を優先し未来に渡すかを、市民と共につくりあげることが参加の最大の目的です。大型事業の連続に市財政が持ちこたえられるのか、という素朴な市民感覚の疑問に答えるため以下の質問をします。

- ① 直近の人口推計で小平市の人口が減り始めるのはいつですか。
- ② 持続可能な自治体運営としての資産と負債の関係、市債残高と公債費の目安についてどのように考えていますか。
- ③ 今後の大型事業の実施によって、小平市の市債残高と公債費はどのように推移していくと予測し、財政的裏付けをとっていますか。
- ④ 具体的事業を明記して中長期的な財政計画を、市民に公表してはどうでしょうか。
- ⑤ 財政に関する市民との対話をどのように考えていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2019年2月13日 小平市議会議長 殿
会派名 生活者ネットワーク
代表質問議員氏名 日向 美砂子

受付番号【 】—（ ／ ）
整理番号（通しNo.）……（ ）